



倉敷市真備町で

～コミュニティの再建と災害に強いまちづくりを目指す～

「川辺復興プロジェクトあるく」の活動

岡山県
備中県民局

平成30年7月豪雨災害では、中国地方など西日本を中心に記録的な豪雨に見舞われ、広い地域で甚大な被害が発生しました。この災害を受けて、岡山県倉敷市で同年10月に立ち上がった住民ボランティア団体「川辺復興プロジェクトあるく」が取り組む地域防災活動について紹介します。

「川辺復興プロジェクトあるく」について

「川辺復興プロジェクトあるく」は倉敷市真備町川辺を拠点に活動する住民主体のボランティア団体です。

川辺地区を含む倉敷市真備町は、一級河川高梁川水系の小田川やその支川の決壊によって大きく浸水し、大勢の方が犠牲となりました。その多くが高齢者や要介護・要支援者であり、避難することができずに自宅の1階部分で発見されました。中でも川辺地

区は被害が甚大で、約1,700世帯が暮らす家屋のほとんどが全壊でした。

また、地区内には避難所が開設されず、水害の後に支援をきちんと受けられる場所がないという状況でした。さらに、多くの住民が地区外の仮設住宅等での生活を余儀なくされたことなどから、地区のつながりを継続することが困難になってしまいました。

このような中、地区のみんな

が自分たちの力で復興に向けて歩いていくために立ち上がったのが「川辺復興プロジェクトあるく」であり、コミュニティの再建と災害に強いまちづくりを目指して、特に女性が中心となって活動を開始しました。



○キッズ防災教育イベント



○防災まち歩きイベント

岡山県備中県民局提案型協働事業での支援 (備中県民局所在：倉敷市)

岡山県備中県民局では住民主体で先進的に取り組む「川辺復興プロジェクトあるく」の地域防災活動を支援しています。こうした取組を継続的に実施していただくことで、備中県民局管内の

みならず、県内外に活動を発信し、各地域の防災力強化に貢献できるものと考えています。

「川辺復興プロジェクトあるく」の取組

1 “防災カフェ”の開催

防災を身近に感じ、楽しく会話やお茶会をしながら防災を自分たちのこととして考える場所“防災カフェ”を毎月開催しています。参加者同士がともに防災に関する知識を身に付け、楽しく集うことで互いに顔の見える関係づくりを行っています。

住民同士の繋がりは災害に強いまちづくりの礎となるという考えから、防災に関する課題を出し合いながら、小規模な勉強会（テーマ：車中泊の極意、避難準備品、非常食の試食とローリングストック、マイタイムラインづくり etc）など簡単にできることから実践しています。

2 イベント“川辺みらいミーティング”の開催

住民同士が自分のできることを語り合い、助け合いながら地域の再生にどう繋げていくかを話し合い、活動する場として開催しています。災害からの復興や地区防災計画策定のモデルとなることができるよう、誰もが参加しやすいイベントづくりを目指しています。

令和2年度は4回実施し、避難のタイミングについて参加者で考えたり、分散避難に関するアンケートを行った結果を報告したりしました。また、大人や子どもが実際に防災まち歩きを行うことで避難ルートについて考える企画も実施しました。

今後は、避難時に近所の方が避難したか否かがわからず心配になったり、避難のタイミングが遅れたりすることが無いよう、安否確認のための黄色いタスキを地区の全世帯に配付することとし、この黄色いタスキを使った安否確認訓練も実施する予定です。

3 “防災おやこ手帳”の作成

真備町内に住むお父さん・お母さんを対象にしたアンケートを行い、水害に遭った経験を水害に遭っていない人に伝えるとしたらどんなことを伝えたいかを調査したところ、「子ども達をきちんと守ってほしい」、「早めに避難してほしい」といった強い思いが浮かび上がりました。被災経験者の思いを形にして、まだ水害に遭っていない人たちに伝えたい一心で“マイ避難先”を考えてみよう!、“避難スイッチ”を決めておこう!といった避難のヒントなどを盛り込んだ“防災おやこ手帳”を作成しました。

代表の横原聡美氏は自身の経験に基づいて実施してきたイベントや防災の仕組みづくりを伝えることは、「災害を自分のこと」として考えるきっかけとなり、それぞれの防災意識の向上に繋がることから、依頼が増えてきた講演活動にも意欲的に取り組んでいます。

「防災おやこ手帳」は好評を得ており、引き続き、同手帳を活用した講演会などを実施し、手帳の活用を呼びかけていくこととしています。

4 “キッズ防災教育イベント”の実施

豪雨災害の中で子どもたちが「早く逃げよう」と親や家族の避難スイッチを押したことで、早めの避難行動につながったケースが多くみられました。このように、子どもたちの学びが家族・地域の防災意識の向上に繋がると考えられることから、年に2回程度、子どもたちに対して「楽しさ」を盛り込んだイベントを実施しています。



○防災おやこ手帳（A5版）

ぼうさい冬号 [No.100]

令和3年2月22日発行 [季刊]
<http://www.bousai.go.jp/kohou/kouhoubousai/r02.html>



● 編集・発行

内閣府(防災担当)普及啓発・連携参事官室
〒100-8914
東京都千代田区永田町 1-6-1
中央合同庁舎第8号館
TEL:03-5253-2111 (大代表)
FAX:03-3581-7510
URL:<http://www.bousai.go.jp>



● 編集協力・デザイン

株式会社エーフォース
〒160-0023
東京都新宿区西新宿 7-18-13
日祥ビル 1F
TEL:03-4530-4649
FAX:03-6332-8870
URL:<https://aforce.co.jp/>

● 印刷・製本

数島印刷株式会社
printed in Japan

● 編集後記

創刊から約20年、広報「ぼうさい」は記念すべき100号を発行することができました。これまで発行を続けることができたのは、数々の苦しい被災経験にも負けることなく、立ち上がり続けてきた皆様のおかげです。今号ではそのような勝ち続けてきた皆様の足跡を、各地方自治体での防災に関する取り組みを中心に特集いたしました。読者の方々がお住まいの地方自治体での取り組みにも興味を持ち、防災意識を高めていただければ幸いです。今後も皆様に役立つ情報をお届けしたいと考えておりますので、ご意見・ご感想お待ちしております。

ご意見・ご感想を、内閣府(防災担当)広報誌「ぼうさい」担当宛で、はがき、FAXにてお寄せください。